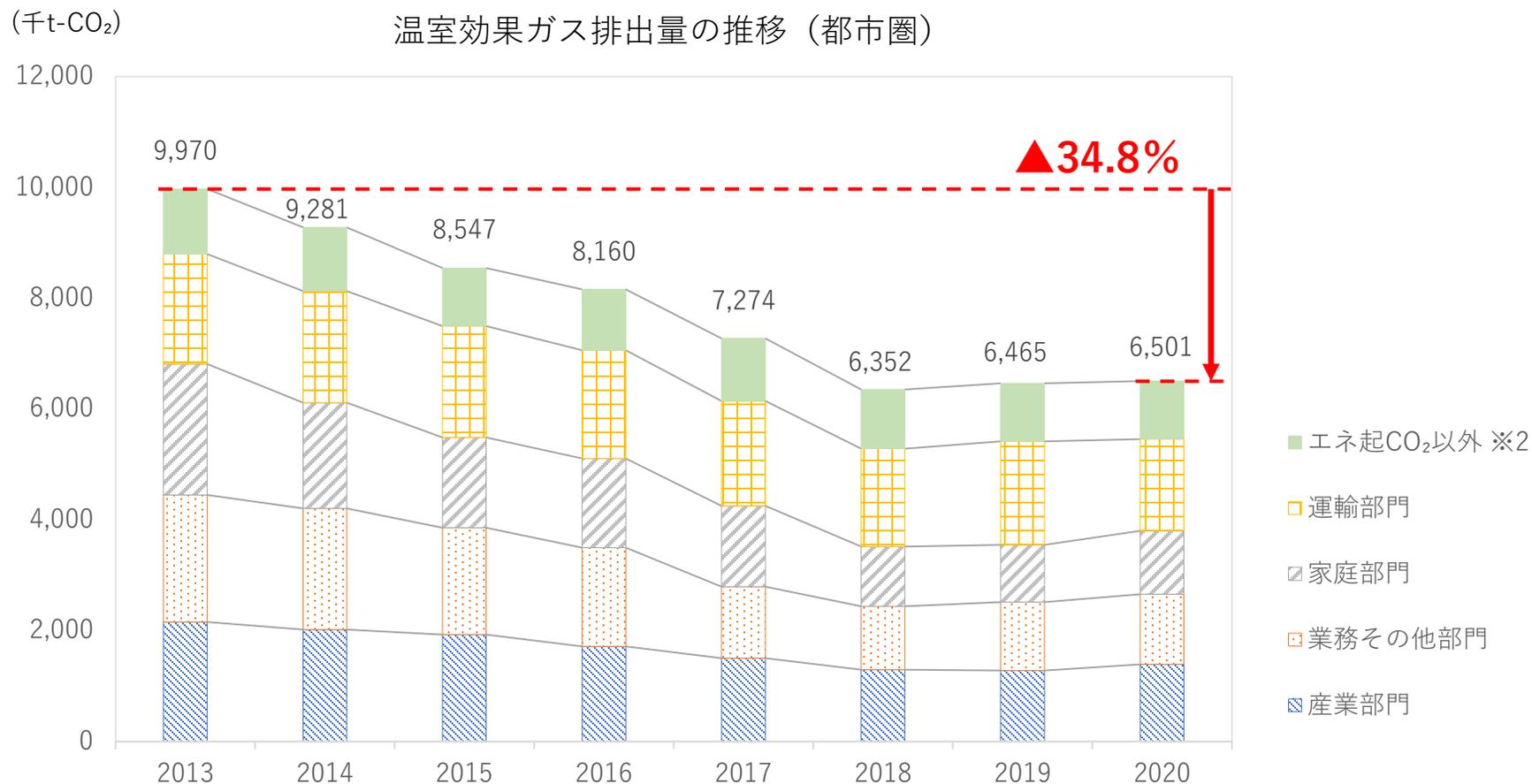


# 熊本連携中枢都市圏における令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量について

- 都市圏域における令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量は約650万 t - CO<sub>2</sub>で、基準年度比 ▲34.8%、前年度比 +0.6%  
→熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画における**2025年度目標値（33%削減）を達成**。
- 長期的には、再エネの普及等による電力排出係数※1の低減や省エネの進展等により減少傾向。  
※1 電力排出係数：電力を発電するためにどれだけのCO<sub>2</sub>を排出したかを表す係数



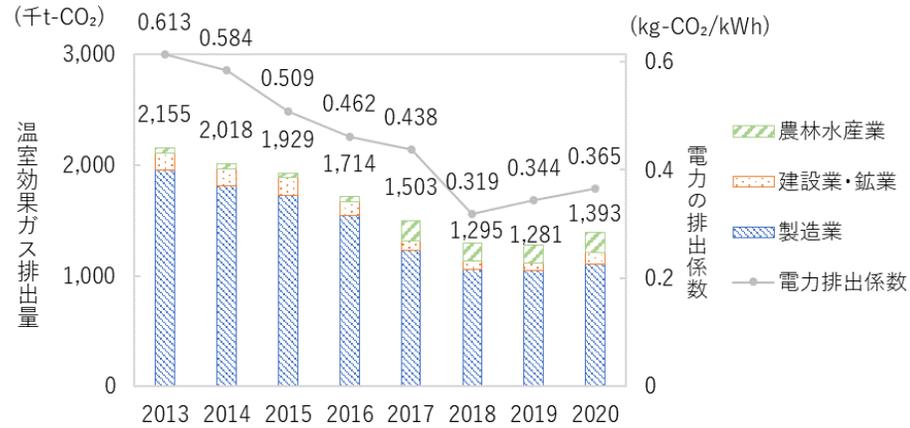
※2 エネ起CO<sub>2</sub>以外：エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス。農業分野（家畜排せつ物、水田の中の微生物の反応等）や廃棄物分野（廃棄物の焼却等）が含まれる。

# 熊本連携中枢都市圏における令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量について（部門別）

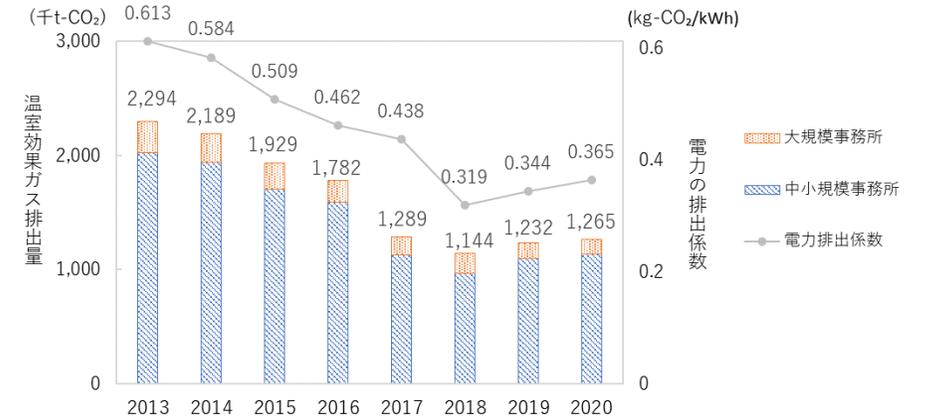
○すべての部門において排出量の削減が進んでいる。

○中長期の目標達成に向け、引き続き、家庭や業務部門の省エネ・再エネ普及を促進するとともに、運輸部門の取組強化が必要。

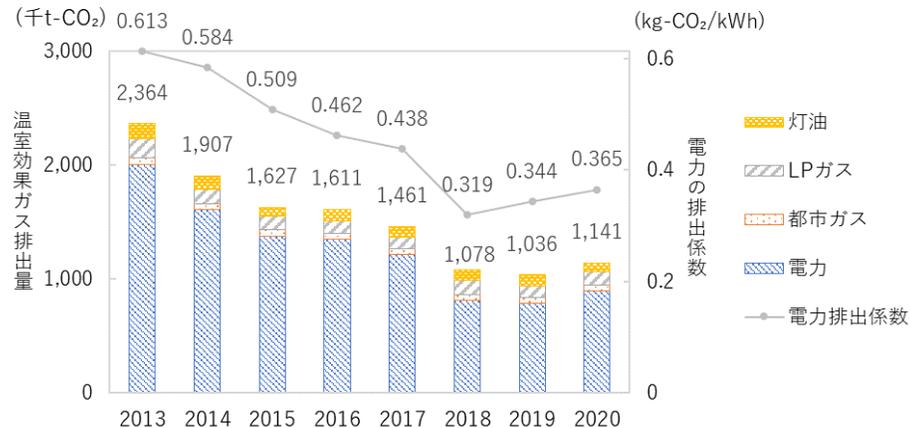
○ 産業部門  
▲35.3%  
(基準年度比)



○ 業務その他部門  
▲44.9%  
(基準年度比)



○ 家庭部門（家庭におけるエネルギー消費（車除く））  
▲51.7%  
(基準年度比)



○ 運輸部門（自動車（自家用含む）・鉄道・船舶）  
▲16.4%  
(基準年度比)

